

名称: 篠崎第五小学校

<b>学校の教育目標</b>	○ 思いやりのある子      ◎ よく学び、よく考える子(重点)      ○ 心も体もつよい子
----------------	---

**国が示す総合的な学習の時間の目標**

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

**学校の総合的な学習の時間の目標**

- 1 問題の中から課題を発見し、解決の見通しをもち、方法や手順を考える。
- 2 目の前の具体的な問題に、自らの知識や技能等を総動員して、粘り強く解決しようとする。
- 3 各教科及び特別活動等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、事象を分析したり、推論したりする。
- 4 他者の良さを発見し、自分の良さを自覚しながら協働して問題の解決や探究活動を行う。
- 5 自分と自然・他者との関わりや、学ぶことの意義、将来の生き方について考える。

**育てようとする資質や能力及び態度**

〈知識及び技能〉	
第3・4学年	第5・6学年
・各教科や特別活動等で身に付けた知識及び技能を活用することができる。	・各教科や特別活動等で身に付けた知識及び技能を、用途に応じて活用することができる。
〈思考力・判断力・表現力等〉	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を発見し、設定する。 ・情報収集の手段を選択する。 ・多様な情報にある特徴を見付ける。 ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現する。	・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。 ・必要な情報を収集し、蓄積する。 ・事象を比較したり関連付けたりして課題解決に向けて考える。 ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ表現する。
〈学びに向かう力・人間性等〉	
第3・4学年	第5・6学年
・探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴や良さを理解しようとする。 ・探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。	・自他の良さを生かしながら、協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとする。 ・探究的な活動を通して、すすんで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	○学校の自然を生かした作物生産	・身近な自然の存在とそのよさ
	・自分たちと関わりのある地域に暮らす人々	・地域で働く人々の思い
第4学年	○学校の自然を生かした作物生産	・身近な自然の存在とそのよさ
	・自然現象の神秘、不思議、すばらしさ ・身近な福祉活動	・環境保全やよりよい環境づくりのための取組 ・手話体験から学ぶ、自分の出来る福祉活動
第5学年	○学校の自然を生かした作物生産	・身近な自然の存在とそのよさ
	・自然現象の神秘、不思議、すばらしさ ・身の回りの高齢者とその支援	・厳しい生活環境の中で生きる人たちの生活の知恵 ・高齢者施設との交流から学ぶ、その暮らしを支える人々
第6学年	○学校の自然を生かした作物生産	・身近な自然の存在とそのよさ
	・身近な地域活性化のための取り組み ・今までの自分の成長と自己の将来	・身近な地域の活性化に力を注ぐ人たちの思い ・中学校や恩人との交流から考える自己の将来像

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・単元は学年で開発し、中学年では3～4単元、高学年は年間3単元程度とする。 ・5年生は農業体験を、6年生は卒業証書づくりについて年間を通して帯単元として実施する。	・児童の課題意識を連続発展させる指導。 ・諸感覚を駆使する体験活動を取り入れる。 ・協働的な学習の充実。	・地域教育力の効果的な運用。 ・コーディネーターによる連絡調整と支援体制の確立。	・学習記録を活用した評価の充実。 ・個人内評価の充実。 ・指導と評価の一体化の充実。